

高橋建具製作所は「100年ともに暮らす建具」をモットーに
飽きのこない長く使えるシンプルな建具を作っています

【目次】

玄関.....	2
障子.....	6
襖.....	10
茶室建具.....	12
格子戸.....	14
簾戸.....	16
納品までの流れ.....	20
会社概要.....	21
別冊 図面集	

玄関



木曾檜 千本格子

■ 玄関

1、防犯

安全性の高い鍵を選び複数つけ、防犯硝子を使用すると防犯性の高い玄関となります。

防犯硝子を使用すると、重くなるので、それを支える戸車や、丁番も頑丈なものが必要です。

2、雨風・日射し

玄関は外部に面している為、長い間、雨風や日射しにさらされます。それに耐えるよう、部屋の中で使う建具より、丈夫に作る必要があります。水に強い木材を選び、その木材の中でも、外部の過酷な状況でも狂いにくい部分を使います。

■ 玄関に使う木材

木曽檜・秋田杉・新潟県産杉の赤太・青森ヒバ・米ヒバ・米松。どれも、比重が高く、脂気があり、水に強い材料です。

■ 製作する上での留意点

弊社の玄関の一番の特徴は、最良の素材を選ぶという事です。

玄関は、温かい部屋と寒い外の間であり、また、片面は太陽の熱を浴び続ける、木にとって大変な場所です。

目と手の感覚をもとに最適な部分を選びます。丈夫で美しい玄関に仕上げます。



青森ヒバ 板貼り玄関戸



左:親子玄関戸(米松) 右:片開き玄関戸(米松)

障子



腰板付き障子 窓障子(新潟県産杉上物)

■ 障子

障子紙

障子の主役、障子紙。弊社では、一般的な大判の障子紙、手漉きの内山和紙、破れにくい障子紙の3種類を主に使っています。障子は、張替えが必要で、その時を想定して作るとメンテナンスが楽です。(ご自宅で張り替える時、市販の280mmの紙の大きさに棧の振り分けをあわせる等)

内山和紙は、張り方が難しいですが、時間が経つほど白くなる性質があり、10年はきれいな状態を保ちます。小さなお子様やペットのいるお宅は破れにくい障子紙がおすすめです。破れにくい紙も、樹脂成分の多い紙は、強力な糊が必要となり、木の痛みを早めてしまいます。弊社では、和紙成分の多い破れにくい紙を使います。木も傷めず、和紙特有の断熱性、調湿作用も大きい為です。

■ 障子に使う木材

新潟県産杉・秋田杉・木曽檜

■ 障子を使う場所

廊下と部屋の間 ・ 部屋と部屋の間 ・ 部屋とサッシの間 ・ 書院 等

■ 製作する上での留意点

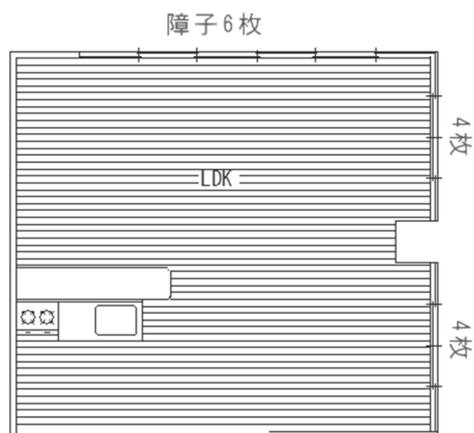
障子の大きさや場所によって、部材寸法を少し変えています。

天袋や欄間等、上部につく障子は少し細くします。1・2ミリの違いで、部屋の雰囲気垢ぬけます。

また、紙じゃくりをつけています。紙じゃくりをつけると、障子紙が張りやすく、仕上がりもきれいです。障子が反った時も、紙がこすれないので、きれいな状態が長く続きます。



雪見障子(硝子なし)新潟県産杉



【間取り】

左写真・間取りは、都心のマンション25Fのお部屋です。
二面ガラス張りで、スカイツリーや富士山が見えて見晴らしが良いのですが、とにかく、暑くてお困りでした。

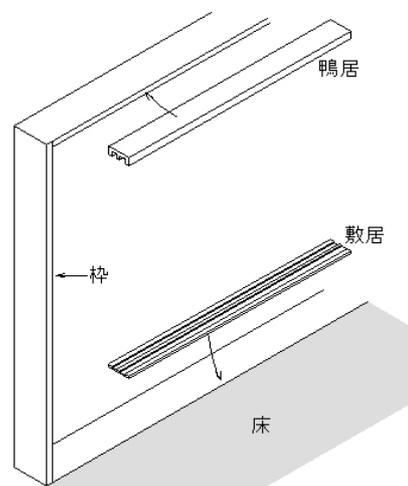
遮熱カーテンをつけても、効果があまりなく、部屋が暗くなってしま
う。色々、探していたところ、障子に断熱効果がある事をテレビで
知り、ご依頼がありました。

景色をいかす為、雪見障子にし、お部屋の雰囲気に合わせて、モ
ダンなデザインにしました。障子紙には、私達が思った以上に断熱
効果があり、部屋も明るくなりました。

窓枠に敷居と鴨居がなかったので、弊社で製作し、そこに障子をつ
けました。

マンションで、このような方法で障子をつける事が増えています。

マンションは風が強くカーテンやブラインドがバタバタするので、
引き違いの障子にしたい、コンクリートの壁の為、温かみがなく、湿
気もたまるので、自然素材の障子を入れたい、などの理由が多
いようです。窓枠が木製であれば、簡単に設置できます。



襖



小川和紙(細川紙)を柿渋で染めたものを襖に仕立てました

■ 襖

1、襖紙

襖紙には、色々な種類があります。和紙・からかみ・絵の入ったものや、地模様のあるもの。工期に余裕がありましたら、ある程度、部屋の内装が出来上がってから、現地に見本帳を持っていき、その場で選ぶとうまくいきます。壁の色や、光の加減で色の見え方が変わってくる為です。(見本帳貸出有ります)

2、襖の種類

襖は大きくわけて、2種類の作り方があります。1、下地板(又は単板)に襖紙を貼るもの、2、棧を組んで紙を張り重ねていくもの。通常は1の方法です。2は上等な仕上げで本襖と呼ばれます。ふっくらとして柔らかい雰囲気になります。

障子と組み合わせて明りが入る源氏襖、御殿襖もあります。(図面集:襖No.2・3)

■ 襖に使う材木

新潟県産杉・秋田杉・木曾檜 本襖は杉の白太

■ 襖を使う場所

廊下と部屋の間 ・ 部屋と部屋の間 ・ 押入

■ 製作する上での留意点

その襖紙が一番きれいに仕上がる方法(裏打ち、下張り、下地の棧など)で製作します。

茶室建具



本襖 窓障子(内山和紙)

■ 茶室建具

職人とともに作る

茶室建具は、パッと見た感じでは単純な姿のものが多いですが、工夫が沢山詰まっています。

襖の隅にしわがよらずピンと仕上がる工夫。本襖が反らないような工夫。紙の継ぎ目がバランス良く美しく見える工夫等。本に書いていない事も沢山あります。もし機会がありましたら、作り手の工場に訪れて一緒に相談して作ると、仕上がりのよい希望通りの建具になります。

■ 茶室建具に使う材木

新潟県産杉

■ 茶室建具の種類

本襖(太鼓襖とも呼びます。灯り張り・重ね張り) 障子 腰板付き障子 掛け障子 (図面集:茶室建具No.1・2・3)

■ 茶室建具との関わり

弊社のある新発田(しばた)市は、城下町で藩主が推奨した事より、茶道が盛んな町です。職人も多く働いています。

茶室建具は、気心の知れた腕の良い表具屋さんとともに、伝統的な製法に忠実に作っております。

格子戸



大阪格子(新潟県産杉)

■ 格子戸

1、機能

格子戸は、風を通す、逆に風を遮る、目隠しにする、空間を仕切る、など機能を求めて作られる事が多いです。欲しい機能を決めてから、デザインを考えてくとうまいきます。左写真の大阪格子のように、障子の取り外しができ、冬は暖かく、夏は風通しの良いものもあります。(図面集ご参照下さい)

2、硝子

格子戸に使う硝子の種類、入れ方は色々あります。

スリガラスや、タペストリーガラスのように中が見えにくいもの。普通のガラスより強く割れても粒になり怪我をしにくい強化ガラス。パターンガラス(チェッカー・モール等)も最近人気があります。入れ方も、違うガラスを組み合わせた大正ロマン風のものなど色々あります。(図面集:格子戸No.3)

■ 格子戸に使う材料

新潟県産杉・秋田杉・木曽檜・檜・ウォールナット

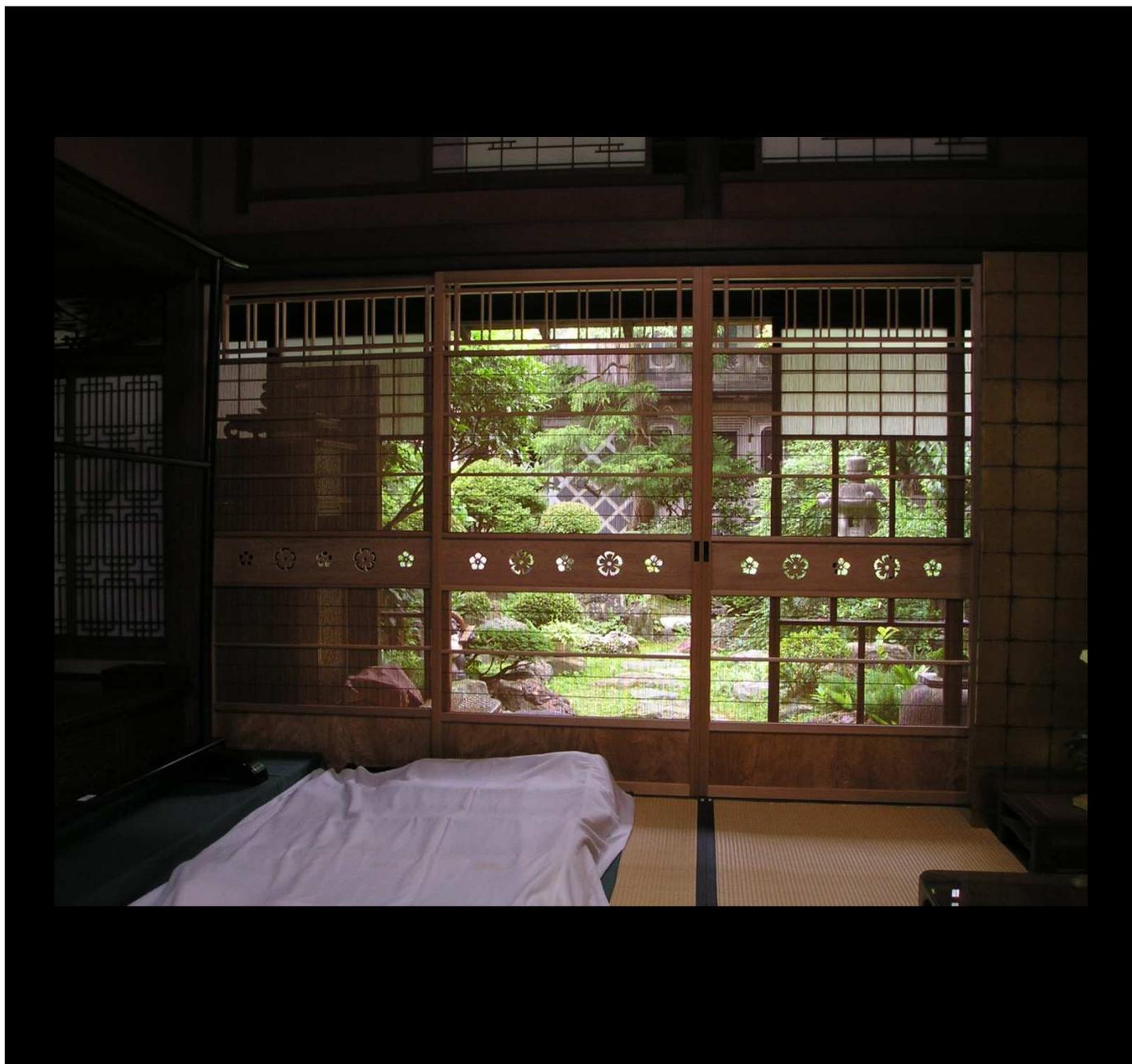
■ 格子戸を使う場所

キッチンとリビングの間 玄関ポーチとリビングの間 部屋と部屋の仕切り

■ 製作する上での留意点

格子戸は、棧の美しさが魅力の1つです。弊社では、棧を良く研いだ鉋で面取りし、きれいに仕上げます

簾戸



萩のすだれを使った簾戸 透かし彫りは撫子

■ 簾戸

1、すだれの素材

簾戸(すど)は、簾(すだれ)をはめこんだ風通しの良い建具で、昔から日本の蒸し暑い夏を心地よくすごす為に使われてきました。すだれには、萩・葎などがございます。お好みや、部屋の雰囲気に合わせてお選び下さい。

2、しまう場所

新築やリフォームで簾戸を採用する際、しまう保管場所を計画しておくとしっきり片付きます。

工事なしで、建具だけ簾戸に変える時や、家の間取りの都合で保管場所を確保する事が難しい場合は、中だけ交換できる障子兼用タイプ(図面集ご参照下さい)がおすすめです。見えてもお洒落な簾戸収納袋もあります。

■ 簾戸を使う場所

和室と廊下の間 和室と和室の間 サッシの内側 リビングと和室の間 マンションの畳コーナーの仕切り

■ 簾戸に使う材料

杉・萩・御形・葎・竹ヒゴ・黒竹

簾戸は、専門のカタログがございます。素材の詳細や、デザインについてはこちらをご覧ください。



和室とリビングの間 すだれは萩使用



上左:キッチンの窓 上右:マンションの畳コーナー (どちらもすだれは焼きヒゴ)

下:障子と兼用できる簾戸(すだれは天津ヨシ)

【納品までの流れ】

- ① デザイン・樹種・ご予算などをご相談・打合せ
- ② ご提案、図面の作成・概算のお見積り作成 ・採寸

お近くの方は、担当が資料をお持ちします。遠方の方は、郵便やメール等ご希望の方法にてお送りします。

- ③ デザイン、取手・鍵などの部品など細かい部分も含めて再検討
- ④ 決定
- ⑥ お振込 初回のみ前払にてお願いしております

- ⑦ ご入金確認後、製作に入ります。

製作内容によりますが、約2～3週間かかります。随時、正確な納品期間を、ご連絡します。

- ⑧ 納品

*採寸・納品は、ご希望や地域により方法が変わります。ご相談の上、随時ご提案いたしま

【会 社 概 要】

有限会社 高橋建具製作所

新潟県新発田市小舟町1-15-5

TEL：0254-22-6450

FAX：0254-22-7096

メール：info@kimajime.co.jp

ホームページ：<http://www.kimajime.co.jp>

創業：昭和36年

代表取締役社長：高橋孝一

従業員数：6名

営業品目：木製建具（格子戸・板戸・雨戸・硝子戸・障子・襖・フラッシュ戸）・住宅家具（収納・シンク下台）

営業範囲：新潟・関東甲信越

